

輝く伝統に新たな1ページを！ 『開校記念日』

◆10月2日は52回目の開校記念日でした。「モスクワ日本人学校の歩み」には、「困難をきわめていた在ソ日本子女教育は、関係者の努力により「学校運営委員会」が設置され、これを母体として開校準備が始められ、ついに昭和42年10月2日、クトゥゾフスキー7/4番地において、児童生徒16名によるモスクワ日本人学校の創立を見ることができた。…」とあります。

◆開校記念日に先立つ1日の全校朝会で子どもたちに次のような話をしました。

○モス日が開校したのは、ちょうど皆さんのおじいさんやおばあさんが皆さんと同じ小中学生の頃、今から52年前の10月2日です。以来、休むことなく歩み続けてきた学校です。その歴史と伝統を大切にしながら、今ここで学ぶ皆さんと一緒に新たな1頁を綴っていきましょう！

○皆さんががんばる姿をたくさんの方が応援しています。前PTA会長の小林様から寄贈していただいた『鯉のぼり』は、子どもたちの健やかな成長を願って揚げられるものですが、その願いは52年間変わっていません。



日頃の声掛け、情報共有を大切に 『避難訓練』

◆先月20日（金）、避難訓練を行い、大使館の警備担当の方から次のようなご指導をいただきました。

- ・避難する際には帽子をかぶる等、頭を守る備えが必要です。
- ・どんな状況でも指示系統が機能するよう、訓練を一層充実させてください。

◆外国でのテロの発生を防ぐことはできません。しかし、邦人の被害は避けなければなりません。被害の可能性を減らすために、次のようなことに務めてまいります。

- ・日頃の声掛け訓練の実施
- ・大使館やメディアを通じた情報収集と保護者との共有
- ・管轄する警察当局との交流・連携



最高のバトンタッチができるように 『JAL 職業講演会』

◆進路指導・キャリア教育の一環として、JAL モスクワ支店の皆様においでいただき、中学部1・2年生対象の職業講演会を開催しました。JAL モスクワ支店様のご厚意とお仕事の合間を縫ってかけてくださった皆様に、この場を借りてお礼申し上げます。誠にありがとうございました。

◆飛行機に乗る機会もあり、興味・関心はあるものの、サービスを支える見えない部分も多い航空産業。事前にまとめた質問事項も多岐にわたるものでした。おいでいただいた3人の方から担当の業務内容についてご説明いただきましたが、興味深いお話と「最高のバトンタッチ」ができるよう、情熱と責任をもって仕事をされている姿から多くのことを学びました。

◆また、ご自身の経歴等も披露していただき、職業に関する知見を広げるとともに、自身の生きを考える場になりました。

